

1. 科目名 (単位数)	社会政策論 / 社会政策 (2 単位)		3. 科目番号	SBMP2134 PSMP3308
2. 授業担当教員	小西 洋平			
4. 授業形態	講義、学生による発表とディスカッション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	社会保障論			
7. 講義概要	<p>現代社会は、様々な社会問題を抱えている。その問題群に対応する政策が社会政策であり、労働・人口変動・生活保障など幅広い分野をカバーしている。一方で、社会政策が十分に機能しているかという点、不十分な点も多くあり、さらには政策自体が逆に問題を大きくしている場合もある。</p> <p>この授業では、そのような社会問題や、社会政策について勉強し、少しでも良い方向に向かわせるためにはどうすればいいかを、自分の住んでいる社会のこととしてとらえ、一緒に考えてもらいたい。</p>			
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の様々な社会問題について、様々な視点からとらえられるようになる。 ・社会問題に対する社会政策について調べ、その概要を理解できるようになる。 ・新聞等で取り上げられている社会問題について考え、自らの意見が発表できるようになる。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【アサイメント(宿題)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業は事前学習を前提に進められるので、必ず授業開始までに事前学習を行っておくこと。 2. 授業内容に沿ったグループワークやディスカッションの時間を設けるので、積極的に参加すること。 <p>【レポート課題】</p> <p>授業内容に沿ったミニレポート(記事、雑誌、ドキュメンタリーの要約や分析)を課すので、毎回出席し、必ず提出すること。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>石井まこと、所道彦、垣田裕介編著『社会政策入門 これからの生活・福祉・労働』2024年</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の様々な社会問題や、それに対する社会政策の内容について、理解できるようになったか。 ・社会問題について根拠を基に考え、それに対する自らの意見が発表できるようになる。 <p>○評定の方法</p> <p>講義への参加・取り組み(発表、発言等) 50%</p> <p>理解度の確認(小テスト、期末試験等) 50%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>日頃から新聞や雑誌、ニュース等に目を通し、現代社会で起きている社会問題に関心を向けておいてください。どのような社会問題が生じ、その問題の原因は何なのか、どのようにすればその問題を解決することができるのかといった問題意識と同時に問題解決のための方策も考えてみましょう。本授業では、社会政策に関わる問題や社会の動きを知るだけでなく、問題解決に向けて考える力、話し合う力、伝える力も重視します。授業内で設けられたグループワークやディスカッション、プレゼンテーションに積極的に参加しましょう。</p>			
13. オフィスアワー	授業内で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 社会政策を学ぶということ(教科書:はしがき)	事前学習	教科書に目を通し、社会政策の全体像を把握しておくこと。	
		事後学習	教科書の「はしがき(pp. i-iv)」を読み、授業内容の復習をする。	
第2回	私たちの生活と社会政策①	事前学習	教科書1章(pp. 3-17)を読み、わからない言葉は調べておくこと。	
		事後学習	私たちの生活と社会政策との関わりについて理解し、説明できるようにする。	
第3回	私たちの生活と社会政策②	事前学習	教科書1章(pp. 17-26)を読み、わからない言葉は調べておくこと。	
		事後学習	社会政策の考え方について理解し、説明できるようにする。	
第4回	子ども期の社会政策	事前学習	教科書2章(pp. 27-49)を読み、わからない言葉は調べておくこと。	
		事後学習	子ども期に関する多様な社会問題と社会政策について理解し、説明できるようにする。	
第5回	進路選択期の社会政策	事前学習	教科書3章(pp. 50-70)を読み、わからない言葉は調べておくこと。	
		事後学習	青年期に関する多様な社会問題と社会政策について理解し、説明できるようにする。	
第6回	成人期・壮年期の社会政策	事前学習	教科書4章(pp. 71-92)を読み、わからない言葉は調べておくこと。	
		事後学習	成人期・壮年期の暮らしと社会政策との関わりについて理解し、説明できるようにする。	

第7回	高齢期の社会政策	事前学習	教科書5章(pp.93-109)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	高齢期をめぐる社会政策のポイントについて理解し、説明できるようにする。
第8回	仕事をめぐる社会政策①	事前学習	教科書6章(pp.113-122)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	仕事の問題を解決する社会政策について理解し、説明できるようにする。
第9回	仕事をめぐる社会政策②	事前学習	教科書6章(pp.122-136)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	仕事ができなくなった場合をめぐる社会政策について理解し、説明できるようにする。
第10回	結婚と子育て	事前学習	教科書7章(pp.135-156)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	変化した家族の現実と子育てを支える社会政策について理解し、説明できるようにする。
第11回	住まい	事前学習	教科書8章(pp.157-174)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	住まいにかかわる社会政策の変化について理解し、説明できるようにする。
第12回	保健医療・介護	事前学習	教科書9章(pp.175-193)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	国民皆保険や介護保険制度について理解し、説明できるようにする。
第13回	生活困窮と社会政策	事前学習	教科書10章(pp.194-212)を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	生活困窮に対応する社会政策について理解し、説明できるようにする。
第14回	国際社会政策	事前学習	事前に配布される資料を読み、わからない言葉は調べておくこと。
		事後学習	諸外国の社会政策にも目を向け、グローバルな視点から社会問題を理解し、説明できるようにする。
第15回	全体のまとめ 総復習	事前学習	授業全体を通して理解できなかったこと、質問しておきたいことを確認しておく。また、教科書1章(pp.3-26)を再度読み、これまで学習してきたことを振り返り、社会政策の考え方についてまとめておくこと。
		事後学習	期末試験に向けて、これまで学習してきたことをしっかりと復習する。
		期末試験	